



百人一首一夕話



百人一首斐刀餘雅大判卷之六

目錄

能因法師 歌筆

能因小食の話

三島明神は雨はたれ歌の話

中津の加賀の話

良暹法師 歌筆

大原山荘の話

中津の加賀の話

関の石門の話

大納言信 歌筆

経信 船の才の話

天保六年

井土の越長柄の櫓の鏡盾の話

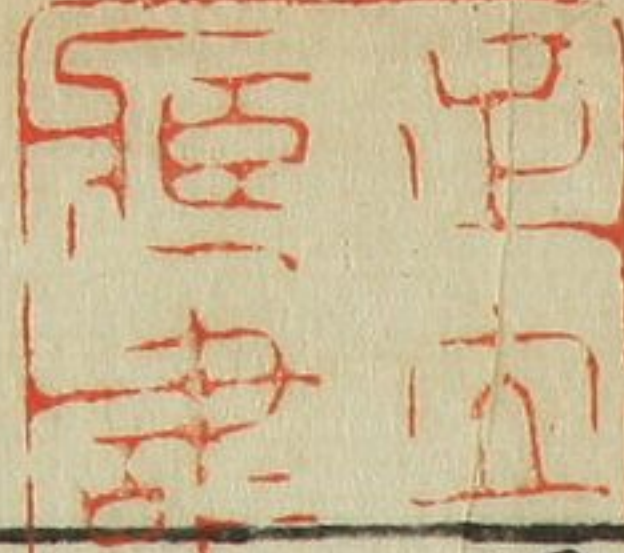
白川の関の歌の話

能因古曾部の家の話

長嘯子大原の歌の話

郭公長はしるし歌の話

土象牧馬の琵琶の話



大目の少将の話

高麗日本の名医の話

祐子内親王家御伊歌筆

坂川院艶書合の話

権大納言匡房歌筆

匡房四歳引て書け讀誦話

隆方実政卒の話

源俊頼朝臣歌筆

難後拾遺作者の話

我名何歌よしく入る話

基俊、頼不承の話

藤原基俊歌筆

怪物詩を吟ずる話

天下利者の話

江家書籍の話

匡房東琴の歌の話

淀の渡の歌の話

鏡宿進女俊頼の歌の話

風のくさりの話

維摩會講師の話

俊成基俊とゆす話

法性寺入道前関白太政大臣歌筆

頼長忠道不和の話

最勝寺の額の話

ふあちう系の歌の話

基俊、頼の歌と難丁話

法性寺殿流し祢す話

又ハ肥前守元愷また へいぜんしゅ げんげい
 いた又一洗は遠江いた また ひとしは とうえい
 忠臣のふがみちゆうしん の ふがみ
 兄の肥前守元愷あに の へいぜんしゅ げんげい
 養子やしよ
 俗名しやくなと小愷こ愷

成田山

あしはら山あしはらの
 もとにもとなるなるのの
 成田山なりた

拾遺集しゆいしふ秋下あき下しも小東ことう甲内裏かうないりの秋合あきあひの物もの
 和わの高市郡たかいちぐんの北田川きたがはの沙田山さだやまの流ながは平へ

群郡がれはる市郡より外の郡もふもろもろ西北より川
の流きよき夫がれは三室山のりらるる流きよき
筋よむ人の地記をく考らまひしりかきしり
つ

能因法師の話

能因俗名と楊永愷とて楊の左大臣清元公十代の孫遠江
守忠らのよみ永愷とて文章すましく肥後の進士
生れ和歌と嗜めて才時有る長能の家の前を通
りし時永愷外へ往らるるは長能の家の前を通
車の輪折れハ替車成りて行かす同依長能の家を
てめく面といひみまてなせ今日はいす

ゆゆしくも家よやのなす幸なる面たりしものよ
ゆやて直長能の家の前をせぬねねゆむ
これらは長能

少くもあつたものなりけし
かやのゆやとて永愷は感服し
能因は昔より和歌のついでとて
かやのゆやとて和歌のついでとて
一々融因のついでとて津國の古部
りよはは世古部部の入道といつて古部
盛のは都のほろ大江の五條東の洞院の家
る也ハ家の南は松の附りあり其の
はる資ハ和の相換り夫が津國の家へ

日本後記曰嵯峨天皇
 弘仁三年依勅造攝
 津國西成郡長柄橋
 之
 又德實錄曰仁壽三
 年九月戊子朔辰
 攝津國奏言長柄三
 國西河頃年橋梁斷
 絕人馬不通請准
 以置二隻船以通
 濟遂許之



誇曰

しう長柄の橋と造りし時
 人柱と云ふ事ありんば
 人柱の御心も長柄の長
 者といふものなり人けり
 かるば橋成就すなり
 人柱の御心といふ事
 らすはせきと云ふ事
 遊し由本紀仁徳天皇
 御宇西成郡の堤を築
 けり二人といふ水神を
 是と云ふ事と云ふ事
 後田連村子ありと云
 一人ふあはれり二川の
 水中に投何御神あり
 是と云ふ事と云ふ事
 何と云ふ事と云ふ事
 以て云ふ事と云ふ事
 人柱といふ事と云ふ事
 信じて云ふ事と云ふ事
 智西門約け云ふ事



とて... 姓因

はの川... 姓因

大雨... 姓因

真観... 姓因

氏百姓... 姓因

のなり... 姓因

は教... 姓因

い... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

は... 姓因

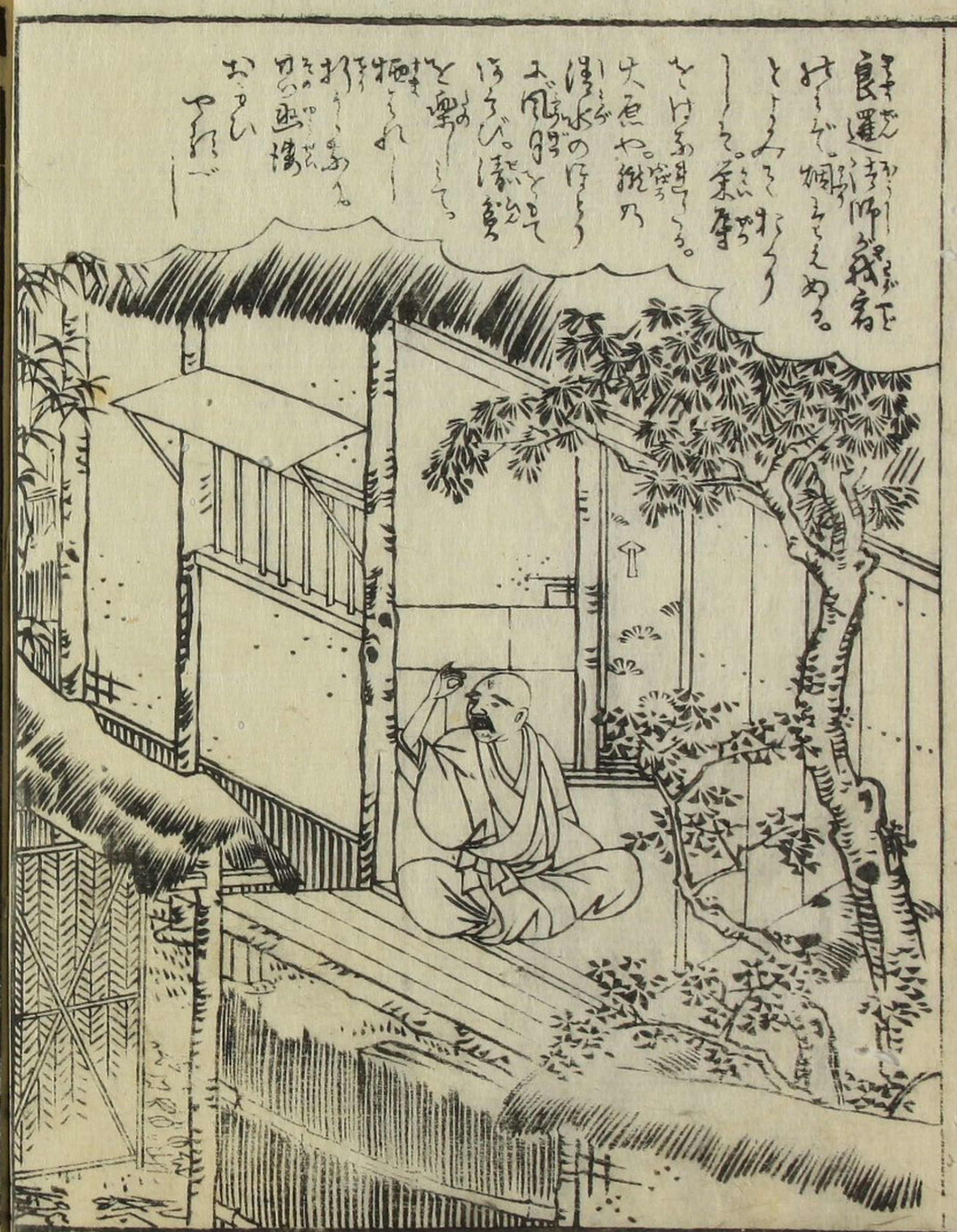
今草生村寂光院の東南二丁さうしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす

大系や
しつらりの大系に住しんあひしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす
しつらりの大系に住しんあひしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす
しつらりの大系に住しんあひしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす

まぐら
しつらりの大系に住しんあひしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす
しつらりの大系に住しんあひしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす
しつらりの大系に住しんあひしよ京に土人ふれと所の住
しつ了良暹大系に住しん此依見修は大夫のしんあひしや
とす



既不^上負^下業
 安^多有^多餘^々錢
 饒^々無^々樂^々心
 何^々然^々一^々絲
 風^々月^々菴^々隈
 約^々千^々里^々關
 山^々寺^々子^々樂
 東^々山^々民^々作^々飯
 老^々人^々也^々



良^々運^々師^々我^々在
 好^々が^々烟^々と^々え^々ぬ
 と^々ふ^々と^々お^々ろ^々う
 一^々も^々余^々存^々
 大^々魚^々や^々獲^々乃
 河^々水^々の^々ほ^々ろ^々
 又^々風^々の^々ほ^々ろ^々
 何^々も^々な^々し^々て
 と^々樂^々し^々て
 お^々ろ^々う
 何^々の^々由^々也
 お^々い
 や^々い

長くつとらぬもろくちのうらむし
 良暹 長くつとらぬもろくちのうらむし
 会坂 会坂はくく時めはひし石門はたぢりか
 うらむし 像なる像と人まひたも徳圓
 むらやま なるやましてまぢりたまひ
 うけき 懐衣又巻つり一開の石の廉
 なるなる なるなるのうらむし良暹
 めひて なるなると紫と紫はる但一お
 むらやま なるなるのうらむしなるなる

とよあつた石の門おもはれしや
 なるなる なるなるのうらむし

牧の約の駿 牧の約の駿はかきか
 やまのし 又袋草子よふ大束はあ
 むらやま なるなるのうらむし
 こねねと人の感難 感難なるなる
 なるなる なるなるのうらむし
 なるなる なるなるのうらむし

経信、長元の初後五
 位下参河持世長曆
 寛徳の同刑部少輔
 左馬頭少納言承
 中四位下天喜治曆
 の同右大弁承治延
 久の如正三位左大弁
 承保二年持中納言
 永保の如持中納言
 寛治中五位上り

大納言経信

音はあけのまは
 やは秋やるあけ

金葉集秋部は阿曾の梅津の山里より
田家秋風は阿曾の梅津の山里より
日暮は阿曾の梅津の山里より
よき音つとくは阿曾の梅津の山里より

秋風、吹て入るよりの
 葉のよみぬ奥の通の
 秋風のよみぬ奥の通

大納言経信の話

源経信は、條院右大臣重信公の孫、中納言道方（の弟）の第子、
 博學多藝、殊に和歌を好み、その和歌は、
 世に称せしむる、長元歌合の時、経信は、
 兄の経長、藏人赤下り、帝経長を令し、
 納言公任、就く判せ、先は、
 経長勅、依りて、長谷は、
 小島く、任りて、任りて、
 経信を足下、
 任りて、
 任りて、
 任りて、

中よれは行長のいも舎方信也秋合評定との御掛けなかり
の篤志感感して彼秋合の判のいもと具て是れは
は拾遺集採集の時信也のその

おほい川いよはさしよ幸のりらあめれせう
いよ入るうけと信強くこの信を振すらさう
ふやされいれ乎下の弄秋そねんくは恥こととせれう
あねもよき物とせけやまのねは信れれれを
金葉集に入らさう又延之の比帝は吉よまてはしりく群れあ
和歌と献せし時経信序代と化して其時の秋の

沖の風さしけれ信よのねのえとららしうは
よとよめしもいもれりや常のりく歎いていれ

けは古今集載しるの躬恒

すまのねは秋風さしよららしうは

とよはははと七間西の度殿の南あては所簾のあけはし
何のえがす人のあしもんはあさく中門廊より入て寝殿の階
の間まつりく所あけけなまらんやなれ物しよとれり
対子息の信れ物と呼ていれり古今集のねと秋風さしあ
いよのひは物と喻ていも大信は任せし人のあし
風さしけれれ物に彼任大信の日中つり入く史生の席
ほの風体がらんやういもれり信れり信れり信れり
今躬恒は方足信すあねも古今集の物よりて先任大
たしよららしうの大納言も者して南階よりね
上るる信はは信なりんも存しよとれり信れり

承暦二年殿上
 歌合のしよ

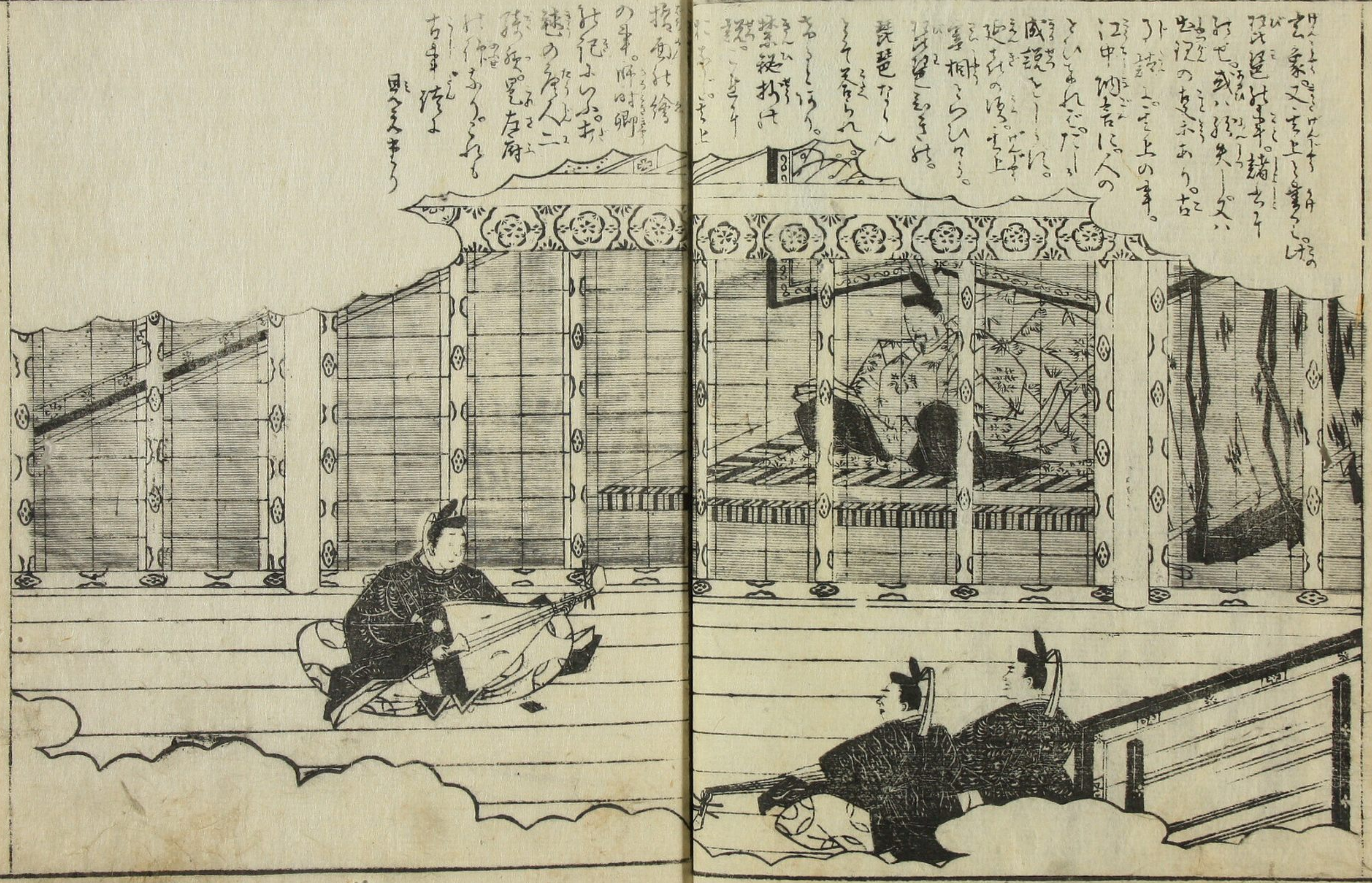
志代つぎしりか
 けのやまのすんかきり
 とよめり其の或人の夢は唐装束
 女もがしひけり
 歌と吟詠おの歎てしやけ
 増長なよけり
 果てし帝七十七
 帝の七十七
 日詩歌管絃の三の船
 其道れ人多て
 経信の運糸の回主上のけり
 外けり
 経信のけり
 管絃も
 兼せり
 何れの船なり
 せり
 産く

大堰川遊覧
 其の景
 公任の船の如
 世も
 娘ふほしに
 名を



甘んじたるはたしめし
家又と上りて
其の邊に坐す諸君
おで或は
出の更ふあり古
江中
といふ
成説
近
享
長
あ
紫
若

指
の
此
徳
孫
お
古
思



たがひとて管絃の般は素く詩歌と歌せしむる三般の
といひしは先づ大納言に任じし三般のしむるは二般と
三般の才人といひしは信信といふ管絃の道師なりけしは或
時帝信信とめし琵琶の名器なる玄象と牧馬と稱ししは
玄牧馬と強させしめて向くのみなりけし二般の琵琶といふは
し作せしなりし信奏せしむるは一條院信明信義之才
といふは二般の琵琶と強さしむるは信明玄象と強
才の信義牧馬と強さしむるは牧馬と強さしむるは
兩人といふは二般の琵琶と強さしむるは強さしむるは
三般の才人といふは信信といふ管絃の道師なりけしは或
時帝信信とめし琵琶の名器なる玄象と牧馬と稱ししは
玄牧馬と強させしめて向くのみなりけし二般の琵琶といふは
し作せしなりし信奏せしむるは一條院信明信義之才
といふは二般の琵琶と強さしむるは信明玄象と強
才の信義牧馬と強さしむるは牧馬と強さしむるは
兩人といふは二般の琵琶と強さしむるは強さしむるは

大感せしむるは信信或人といふは信信といふ管絃の道師なりけしは或
時帝信信とめし琵琶の名器なる玄象と牧馬と稱ししは
玄牧馬と強させしめて向くのみなりけし二般の琵琶といふは
し作せしなりし信奏せしむるは一條院信明信義之才
といふは二般の琵琶と強さしむるは信明玄象と強
才の信義牧馬と強さしむるは牧馬と強さしむるは
兩人といふは二般の琵琶と強さしむるは強さしむるは
三般の才人といふは信信といふ管絃の道師なりけしは或
時帝信信とめし琵琶の名器なる玄象と牧馬と稱ししは
玄牧馬と強させしめて向くのみなりけし二般の琵琶といふは
し作せしなりし信奏せしむるは一條院信明信義之才
といふは二般の琵琶と強さしむるは信明玄象と強
才の信義牧馬と強さしむるは牧馬と強さしむるは
兩人といふは二般の琵琶と強さしむるは強さしむるは

南難なるととていふは匡房きやうぼうの歌い通とほ後ご自らみづかり
 院いんの勅ちやくは拾遺集しゆいしゆと撰せんせしは信しん者しやの列れつは
 世よの人不審ふしんは拾遺集しゆいしゆ成なりは信しん者しやの列れつは
 信しん寛くわん治ち年ねん中ちゆうは正せい位ゐは叙ぎよせし嘉保元かほげん年ねん太宰たさい府ふに
 西府さいふよりむかひり其道そのみちより筑前ちくぜんの造田ぞうでんの驛えきに宿とどせし折しは八
 月つき十五ご夜やなりは彼旅かみり者しやの衣えと大おほなる槻つきの樹きと目め障さやりぬは良
 者よ余あと直ただに拊ふと伐はせし月つき月つきは露つゆと鏡かがみと強つよく秋あき
 朗吟らうぎんせし其風流そのふうりゆう英氣えいきがたぬく承徳元じやうとくげん年ねん十二じふに月つきは
 太宰府たさいふ小荒こあらせられし別業べつぎやうは桂けいの里さと構かまり吟遊ぎんぎゆうせし是れ
 世よの桂けいの大綱言おほのすゐのこたへとも稱なづせり其子そのこは基綱もとすゐ佐さねの二人ふたりとてよ
 歎なげしとせしとせしと

祐子内親王ハは朱
 在院の皇太子母
 ハ中宮姫子長暦二
 年四月に生れたま
 ひ延之四年時
 おろしたまひては
 二ののちとせし

祐子内親王家紀伊

音もくたのせし
 あはれしや
 めりしとせし

金葉集きんぎふしゆ下しもは堀川院ほりがわいんの
 中綱言なかつなごのこたへ佐忠さちゆう 人ひとあまぬおのり
 堀伊ほりいのこたへは堀川院ほりがわいんの時ときは葉裏はのうらとて駿上しゆんじやう人の

致す... 信せ... 女房... 懸想... 艶書... 故艶書... 祐子... 内親... 祐子内親... 其家... 日本... 撰津... 紀の國... 播植...

祐子内親王家紀伊の話

其家の紀伊... 日本六十餘國... 撰津の二字... 紀の國... 播植...

其計のやまうふ本ほんのふらひゆりて持津もちつはらひ母ははのけし
 きて津つのまをいふゆる津つのまのつり一ひと元明げんめい天皇てんかうの和銅わどう六年
 五月ごがつの勅しゆく詔しゆくありて五畿ごき七道しちどう諸しよ郡ぐんの郡ぐんの名郷なごうの名なを二ふた字じとて
 名紙なしになしし作なりし其時そのときに持付もちつけ和伊わいの
 のなな大和やまともりの傳つたの字な和泉わいせんもりの泉いの一字ひとなり又また二字ふたの
 字なも二字ふたの約やくめハ上野かみのの下野しもの二箇ふたふりハ上野かみも下野しもも
 野のとくされア

先通せんとう八大江はつたい音人おと
 匡房くわうぼう寛治くわんじ八年はちねん持もち
 中納言ちゆうなごん長二年ながにねん太宰たさい持もち
 四年よねん持もち帥すい解任げにんして
 正二位せいじにの叙しよされ長
 治二年ちじにねん又また持もち帥すい
 天小二年てんせうにねん大納言だいなごん
 かり同十月どうじつ十七
 一ひと心こころして費つぎせ

持中納言匡房

持中納言匡房
 長二年太宰持帥
 四年持帥解任して
 正二位の叙され長
 治二年又持帥
 天小二年大納言
 かり同十月十七
 一心して費せ

拾遺しゆい系けい春上はるかみよりらのおほいさから君きみの家いへ
 酒さけの飲のみは遠とほく山の嶽たけやらむ
 八内大臣やちだいじんよりら二條ふたじょう園いん白はくの通とほ公こう

也上人の建之けりも北の向ひにありしれを打廻る大其強記
歎賞せしむる匡房其より文章得業生を補せしむ對策及第せり
正けしむる才成りてせね憤や近松山林の晦ちんあひくれり
あしむ竹中納言経信とて松論くくしむ命世の才成徳にせり
何うしむ其身と愛せしむるは隠遁せんしやていふ
らむしは才意見と判りし隠遁の志をやめしむるは
三條赤白の帝城に帝をゆるりて官位昇進せしむる承暦
中高麗國より日本の名医丹波雅忠と請りし匡房とていふ
の五牒とていふし其文の中は
雙魚難逢鳳池と浪扁鵲堂入雜林之堂
とていふしむるは匡房の書にありしむるは彼心あり
人太宰府へありしむるは白河神の書にありしむるは雙魚しりしむ

りぬしむる奥の形にありしむるは書翰と雙魚しりしむ鳳
池は禁中の所池のしむる扁鵲もわりの名医の名雜林は鹿の別
名なりしむる大紅家ハ支祖書人なりしむる代は世識の人なりしむる
代りしむる朝廷の故實しむるは書翰編集せしむるしむる今の
せしむるは家次第二十卷なりしむるは家の書籍なりしむるは
火災焼しむるは匡房の二書ありしむる倉よりありしむる書籍は
りしむる或人の中火災ありしむるは匡房の二書ありしむる
失しむるは書籍も失しむるは家の失しむる期しむるは書籍も
火災ありしむるは匡房の二書ありしむる倉よりありしむる書籍は
小果しむる其はなれありしむるは仁平の比倫も精しむるは
院の志ありしむるは匡房の二書ありしむる倉よりありしむる書籍は
なしては衣筆の宣言ありしむるは伊勢大神宮へありしむる

其後嘗て人日謂こころ信れハ文才なるて和教とすすなはハ
 馬のよう道術あるてめしつ信れぬ御すてと文時頼綱
 ぬき才學博きものよし秀歌にみゆきす 祈植貫くは名
 ハきこひかゝる和教何すすは書けりすあは基後の中余極
 何す也といわれり基後其才を自負して常に他の教を判す
 至るやハ口叔松め評一駟こころもせしんん町で殊漏の
 失巧に信れハ生質温厚なるれ人これ深愛するのまこの
 故を以て當時の答言せまよく人々何れも又信れぬよりして
 白河院淀江所方違入のりすまけは愛りけいひのま 郭
 一 声ほのまふてこりれと一首詠せよばいゝらへり女房舟
 の中へ何れもくあひひとあはへ

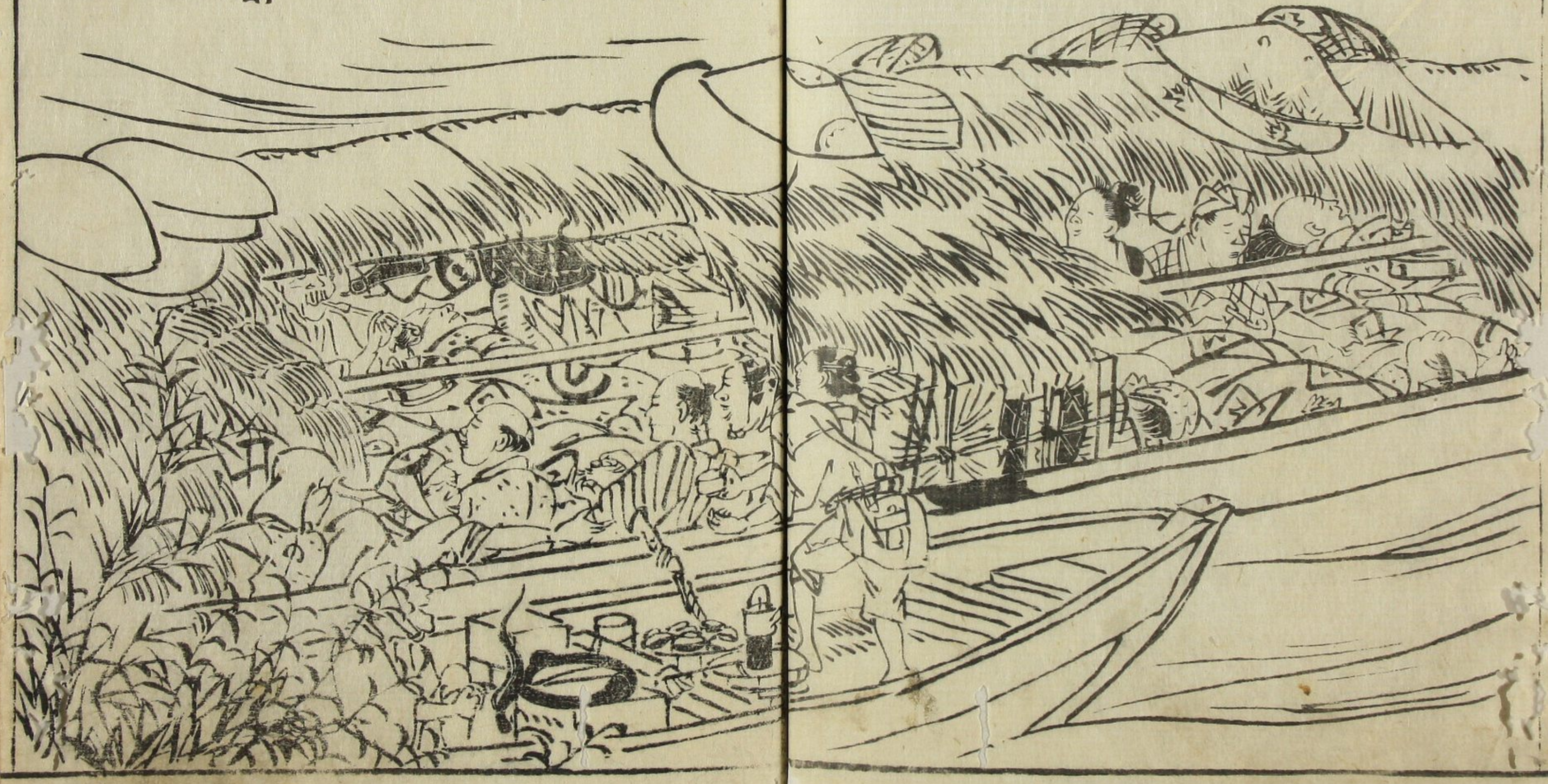
~~~~~

是す新らしむるももあはれなるるのて 一郭の教ハ大將の  
 寺時所傳向は流のりすまけは愛りけいひのま 郭  
 子す忠見

拾遺集も我れ終くそ又或時法性もぬ今  
 名何のまはるりれえあはへりあをきさかして  
 けいひのまはるりれえあはへりあをきさかして  
 けいひのまはるりれえあはへりあをきさかして  
 けいひのまはるりれえあはへりあをきさかして  
 けいひのまはるりれえあはへりあをきさかして

舟  
 中  
 之  
 人  
 各  
 有  
 其  
 事  
 也

壬午  
 冬  
 見  
 舟  
 中  
 之  
 人  
 各  
 有  
 其  
 事  
 也









吾妹の女遊去のなほ...  
 少くもこれらの中は...  
 又家集...  
 字ハ...  
 書...  
 用の...  
 信...  
 又...

祖父ハ堀河右大臣...  
 宗公又ハ三位左大臣...  
 信...  
 順業の子ハ五...  
 位...  
 徳院の保...  
 薙髮...  
 竟...  
 千四...

藤原基俊

世...  
 信...  
 秋...

千載集...  
 僧都光覚...  
 維摩會の講師...  
 信...







15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 841. 842. 843. 844. 845. 846. 847. 848. 849. 850. 851. 852. 853. 854. 855. 856. 857. 858. 859. 860. 861. 862. 863. 864. 865. 866. 867. 868. 869. 870. 871. 872. 873. 874. 875. 876. 877. 878. 879. 880. 881. 882. 883. 884. 885. 886. 887. 888. 889. 890. 891. 892. 893. 894. 895. 896. 897. 898. 899. 900. 901. 902. 903. 904. 905. 906. 907. 908. 909. 910. 911. 912. 913. 914. 915. 916. 917. 918. 919. 920. 921. 922. 923. 924. 925. 926. 927. 928. 929. 930. 931. 932. 933. 934. 935. 936. 937. 938. 939. 940. 941. 942. 943. 944. 945. 946. 947. 948. 949. 950. 951. 952. 953. 954. 955. 956. 957. 958. 959. 960. 961. 962. 963. 964. 965. 966. 967. 968. 969. 970. 971. 972. 973. 974. 975. 976. 977. 978. 979. 980. 981. 982. 983. 984. 985. 986. 987. 988. 989. 990. 991. 992. 993. 994. 995. 996. 997. 998. 999. 1000.

作せられたる時は後れよしの持らんすれはなり彼揚公の真の龍を  
んかおつてころも其は保つておるはあま真の代の何れ  
てんかおつてころも其は保つておるはあま真の代の何れ  
なりしとかりしとるもなり人の物と難す癖のまけは  
觸く尖まらうけは基後琳賢も中何れけは雲居も  
佐和の物と基後の物なり時考へて其は  
又何時琳賢もひもつて基後となんか  
物の中よ人もつて基後の中よ人もつて  
あつて書けしと基後の物なり  
こやなり物合とてからけは  
けくはしとてあつたは基後とて  
しよとてあつたはしよとてあつたは







皇後秀姫にて  
遊之長し  
人皆其を  
口を極めて  
幣之終一  
人其多可  
瑞雲踏仲  
世を  
世より  
其れ其後  
引いて後  
之新家  
祖と仰

非常人  
如きす  
征者  
如





しきりては忠通はさへ  
の國は賜りてしし忠通はし  
るふ人をたへて大和の國內に點檢させし  
起りては忠通はさへ見ぬ  
は前々伊賀の地知らせし  
二時子に長と忠通はさへ  
國は食租しす業華なるも  
すもやしめりあはるも又の忠実なるも  
まれば忠通はさへ  
譲りて他日長又は子孫に  
しきりては忠通はさへ  
心底はさへ

れは忠通はさへ  
重臣はさへ  
又忠実臣はさへ  
けりし臣今又  
かへりし又  
しきりては忠通はさへ  
義は地はさへ  
知りしはさへ  
先は忠通嫡子基実と元服させし  
を并しめりしはさへ  
しきりては忠通はさへ

たる折かれは公の輩より今千人なり 唯在宗能忠基経定其  
ゆつとあつちふちふち子息はらぬ叙位昇殿の命もなつて  
崇徳院の嘉門院の珠其家も臨御せたまふ事ありて  
お長者者忠かたの御少ませたまひ忠通既親くお長り  
故かたて仁平元年元日の節命を親長内侍たりし帝中帳入  
せさせなむす翌日法皇は親えさせたまひ忠通は侍りし  
ふは御座りしおきおきし御座りしは御座りしは御座りし  
少ませたまひは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
主たりし帝中目とありせたまひしは御座りしは御座りし  
謀りんとお長りめられけしは忠通勅旨はけしは法皇より御座りし  
常の徳位の御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし

病稱せしはなんすすお長ら忠実よのたすや忠通意とあり  
謀りしお長り天下を漸くお長りしは御座りしは御座りしは御座りし  
ら少く忠徳位の御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
女忠実とありしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
止まりかたお長り御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
凌ぎ辱しは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
所御十七日崩したまふは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
やるやたまひしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
は御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
て嗣ありしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
上皇の第一子守仁推仁ハ子に御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし  
一人と並びしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りしは御座りし









人々も温厚にして喜ぶものも多し  
 風格主として秀逸なるものありて人庶の向ひしと  
 一嘗く白河帝の勅依奉りて続本朝秀句三巻を成りて  
 其上院より又和漢の詩歌を纂あへて海内基衡を賜はるる  
 風となりてはせし法はち在流と稱せしれり  
 時最勝の顔に書けしひり老後まきつとせし  
 忠通公の子息と基実基房兼実兼秀兼房と  
 百人一首一夕話巻之六終

百人一首一夕話巻之六終

